

県内の少年非行(令和5年2月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、令和4年は確定値、令和5年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

令和5年2月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は325人で前年同期(223人)に比べて102人(45.7%)増加している。

不良行為少年は1,682人で、前年同期(1,554人)に比べて128人(8.2%)増加している。

区分	年別	令和5年	令和4年	増減		
		2月末	2月末	人員	率(%)	
非 行 少 年	犯罪少年	140	110	30	27.3	
	触法少年	121	60	61	101.7	
	計	261	170	91	53.5	
	特別 法犯	犯罪少年	30	32	-2	-6.3
	触法少年	12	5	7	140.0	
	計	42	37	5	13.5	
ぐ犯少年	22	16	6	37.5		
合計	325	223	102	45.7		
不良行為少年	1,682	1,554	128	8.2		

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	令和5年2月末		令和4年2月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
刑法犯少年		261	100	170	100	91	53.5
凶悪犯		6	2.3	5	2.9	1	20.0
粗暴犯		47	18.0	36	21.2	11	30.6
窃盗犯		134	51.3	88	51.8	46	52.3
知能犯		7	2.7	4	2.4	3	75.0
風俗犯		6	2.3	4	2.4	2	50.0
その他		61	23.4	33	19.4	28	84.8
うち占離		10	3.8	6	3.5	4	66.7

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	令和5年2月末		令和4年2月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
総数		261	100	170	100	91	53.5
未就学							
小学生		53	20.3	38	22.4	15	39.5
中学生		102	39.1	48	28.2	54	112.5
高校生		66	25.3	59	34.7	7	11.9
その他学生		8	3.1	4	2.4	4	100.0
有職		22	8.4	16	9.4	6	37.5
無職		10	3.8	5	2.9	5	100.0

4 初発型非行の状況

区分	年別	令和5年2月末		令和4年2月末		増減	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)	人員	率(%)
総数		118	100	80	100	38	47.5
万引き		70	59.3	54	67.5	16	29.6
オートバイ盗		9	7.6			9	
自転車盗		29	24.6	20	25.0	9	45.0
占有離脱物横領		10	8.5	6	7.5	4	66.7
刑法犯少年に占める率(%)		45.2	—	47.1	—	-1.9	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の16.6パーセント(前年同期比+5.1ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の51.3パーセントを占め、次いで粗暴犯の18.0パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(1,064人)と深夜はいかい(374人)が全体の85.5パーセントを占めている。